

協働のまちづくりに向けた「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月23日（木）午後7時～午後8時50分
□会 場	勤労福祉センター
□参加者	町側11人、地区側22人

1. あいさつ（町長）

同趣旨のため省略（英比小学校体育館参照）

2. 「住民税1%町民予算枠」制度 について説明（政策協働課長）

わくわくアイデア事業について・わくわくコラボ事業について
制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び町制60
周年記念事業を説明。

3. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問① 阿久比神社東側の町道側溝蓋の留め金が少し跳ね上がっているので修繕をお願いします。（阿久比）

答） この町道 4066 号線の脇の止め金具は、水路整備工事の際に設置されたものと考えられます。

現地を確認したところ、金具が3cm～5cm程度路面から出ているものがありました。補修いたしましたので、ご確認ください。（建設経済部長）

関連質問） 金具のカットは、いつ頃予定していますか。（阿久比）

答） 既に業者に手配してあり、カットしたと聞いていますのでご確認ください。（建設経済部長）

質問② 町道 4066 号線、棕岡さくらや新聞店西側～阿久比神社の間を一方通行にできないですか。（阿久比）

答） 町道 4066 号線については、沿道に多くの住宅があり、生活道路として使用されているため、一方通行規制を行うためには、沿道地域の皆さんの同意が必要となります。地域の皆さんの同意を得ていただき、行政協力員さんから要望書を提出していただき、警察へ要望してまいります。（総務部長）

質問③ 丸山公園から阿久比公会堂の間の道路で山内ます子宅前は段差があるのでガードレール設置を要望します。（阿久比）

答) この町道 4064 号線のこの区間は、緩いカーブ区間で見通しも良くない地点です。

現在の道路脇にガードレールを設置するとより道路幅が減少することになります。道路改良事業等で幅員を拡げなければ、抜本的な解決にはならないと考えます。

町としては、拡幅するための用地の確定や用地買収等に目途が付き次第、道路拡幅事業を検討していきたいと考えていますので、道路拡幅の要望書を提出して頂くとともに、地権者の同意を取り付けて頂くようお願いいたします。(建設経済部長)

質問④ 防犯パトロール講習会を土、日曜日に実施してください。(阿久比)

答) 講習会の講師は、警察に依頼しているため、休日の開催について可能であるか、半田警察署交通課と相談してまいります。

また、概ね 2 年ごとに更新という方針は、警察が決めていますので、5 年ぐらいにならないかについては、警察に要望してまいります。(総務部長)

質問⑤ 上水道の水源を木曾川にしてください。(阿久比)

答) 愛知用水地域では、昭和 47 年以来、水源不足の状況にありまして、平成 6 年には 19 時間断水という非常事態が発生し、皆が苦勞したことは記憶に新しいことです。

水源につきましては、牧尾ダムに加えて阿木川ダム、味噌川ダム及び長良川河口堰の開発を順次進め、平成 10 年 4 月に長良導水が完成したことにより、当町においては、それまでの木曾川からの暫定取水が、本来の水源である長良川からの取水とすることができるようになりました。

また、長良川河口堰水源にした場合、塩分等が増えて水質を確保するにも問題があります。

長良川河口堰水源は、水質的にも何ら問題なく、濁水もない安定した水源であることから、より安定した供給体制が図られることとなりましたので、ご理解ください。(建設経済部長)

関連質問) 愛知用水に権利がないことは分かっているが、長良川の水質は木曾川に比べて平均 7 倍くらい汚れている。佐布里のダムまでは、木曾川と長良川の両方の水が来ており、愛知用水の水は最高毎分 22 トンあります。そして、飲料用として使っている長良川の水は毎分 2 トンとなりますので、ここで木曾川と長良川の水を交換してもらって、木曾川の水を飲料用とすることはできませんか。(矢口)

答) 阿久比町としては、断水しない水の確保と次に水質のいい水を念頭に考えていきます。(町長)

提案) 木曾川の毎秒 200 トンを超える部分の水は、どこも権利を持っていないため、

こちらで飲料用として取ることができる。このことについて、国や県にもお願いして行ってほしい。また、平成6年時の湧水からダムもできて供給量は多くなっている点も考慮してお願いして行ってほしい。(矢口)

質問⑥ 棕岡踏切付近の排水対策について(棕岡)

答) この排水路は、県道名古屋半田線と名鉄河和線の下を横断して、東側の郵便局の裏まで暗渠でつながっています。

過去に、この水路内にゴミが入らないように入口に格子を設置しましたが、排水路のゴミがその格子に詰まり隣地のカーディーラーに水が乗りこぼれそうになり、結果、ゴミ取りの格子を撤去した経緯があります。

このため、大雨が降ったときには、マンホールの入口にゴミが詰まっていないかを職員が確認することになっています。

この排水路は、県道と名鉄線路の下を通っていますので、口径を大きくする工事は、非常に難工事で、出来ませんのでご理解ください。(建設経済部長)

関連質問) 難工事ということですが、推進工法等を使って前向きにご検討を頂きたい。(棕岡)

答) 技術的にできないということではなく、膨大な費用が伴うため現状では難しいです。(建設経済部長)

関連質問) 工事費用は、どれくらいかかるのですか。(棕岡)

答) 試算してみます。(建設経済部長)

質問⑦ 桜屋呉服店前の三叉路の信号機設置を要望します。(棕岡)

答) この箇所では、平成21年に県道をトラックと原付が並行しての、走行中による死亡事故が発生しています。

信号機は、県公安委員会が現場の事故件数や日中を通した通行量などを踏まえ、安全かつスムーズに通行出来る様、危険度や緊急度、必要性を総合的に判断して設置しています。

県公安委員会は「この箇所は、名鉄電車の踏切が近く、交通渋滞の発生も考えられることから、信号機を設置することは非常に困難である。」との見解であるので、信号機設置は難しいことをご理解いただきたいと思います。(総務部長)

提案) 名鉄の線路が近く信号設置が難しいということですが、半田市には同じような場所で設置されているところはある。町は、安全・安心の町づくりしていることから、こういった場所を優先して推し進めてほしい。学校からも公安委員会に強

く要望しているとのことですので、町からも強く推し進めていってほしい。(棕岡)

関連質問) 押しボタン信号や赤色・黄色の点滅信号などでも付かないのでしょうか。
(棕岡)

答) 可能性は低いですが公安委員会へ再度強く要望していきます。(総務部長)

質問⑧ 災害時に地区と役場の連絡がスムーズに取れるよう、町と地区の非常連絡網の整備をしていただきたい。(町職員の連絡要員の確保)」(棕岡)

答) 4月19日の区長会でお渡ししました自主防災会活動マニュアル及び、本町の災害対策実施マニュアルにて、自主防災会との連絡調整は、総務班で取りまとめることとなっております。

また、南海トラフによる大地震が発生した場合、職員は、夜間では、町職員の人員体制の不足が想定されるため、直ちに職員の派遣を行うことは難しいと考えています。そのため、今年度「簡易無線機」を購入して、23地区に配布し災害対策本部と地区との情報の交換が出来る連絡網の整備を図って参りますので、ご理解ご協力をお願いします。(総務部長)

関連質問) 無線機の配布ということですか。(棕岡)

答) 簡易無線機の配布を予定しています。(総務部長)

関連質問) 無線機は、区長や自主防災会長に持ってもらうのですか。(棕岡)

答) 今までは町の職員が無線機を持って地区へ行っていたが、それではタイムラグがあるので区長である自主防災会長に事前に配布し、町の災害対策本部との交信用に使ってもらいたいと考えています。(総務部長)

要望) 無線機の取り扱いについて説明会を行っていただけますか。(棕岡)

答) 準備が出来次第行います。(総務部長)

質問⑨ 防災放送について、現在スピーカ支柱の下についている操作盤で行っているが、屋内で操作できるようにしていただきたい。(棕岡)

答) 阿久比町防災行政無線システムは、災害発生時の情報伝達、避難勧告・指示などの緊急通報、平常時には行政広報における住民サービス等の利用も考慮した通信網として、町内一斉に放送出来るように整備しており住民の安全確保のために活用しております。

また、学区などの行事にもグループ別の放送も行えますが、防災行政無線の目的として住民の生命・財産の保全のために、気象情報等を速やかに通報する重要な役割があります。災害前後に室内の放送局へ行って使用するのには、人命第一を考えますと、非常に危険を伴いますので放送局を移転することについては、現在考えていませんのでご理解していただきたいと思えます。(総務部長)

質問⑩ 未来づくり懇談会については、ついでに旧まちづくり懇談会をやるのではなく、旧まちづくり懇談会として開催してほしい(棕岡)

答) 一昨年までの、まちづくり懇談会については、「毎年同じ事の繰り返しである。」「参加者も地区の役員ばかりで毎年同じ顔ぶれ、地区からの要望、質問も同じことの繰り返しなので、実施方法を検討すべき。」「もう少し、女性の参加を促し、女性の声、子育て世代や若い世代の声を聞くように」などの、ご指摘、ご意見を頂いていました。

そこで、住民の参画と協働のまちづくりには、町行政と住民の情報共有が第一ですので、町からの情報発信と参加者の皆さんとの意見交換に重点をおき、昨年、実施したところ、大学生の参加もあり、意見交換ができたことは、大きな成果であったと感じています。

また、昨年は、新しくスタートした「住民税 1%町民予算枠制度」の説明にかなりの時間がかかることと、地区からの要望・提言事項については「毎年同じ要望が繰り返されている。」とのご指摘もあったことから、後日、書面で回答をさせていただきました。

地区に限らず、住民の皆さんからの声はいつでも、広く聴く体制でいますので、何かありましたら直接関係課へ声を届けていただければ結構ですので、よろしく願います。

また、今年の懇談会は、先程、簡単にご説明しましたが、住民税 1%町民予算枠制度も 2 年目になり、説明時間を短縮しました。

地区から事前に提出いただいた提言、質問事項についての回答を行なった後、参加者の多くの皆様と意見交換を行ないたいと考えていますので、進行につきましてご協力よろしく願います。(総務部長)

質問⑪ 循環バスの逆回りをお願いします。(矢口)

答) 矢口地区の皆さまには、公民館への循環バスアグピー号の乗り入れにご協力いただき、ありがとうございます。

矢口公民館に乗り入れますブルーラインの南部方面は、所要時間 25 分の間に、中部公民館、アピタ、南部小学校、矢口公民館など面的に広がりのある地域を運行しています。

他の路線が基本的に主要道路を往復するルートを通っているのに対し、南部地区は東西方向に広がりがあることから、限られたバスの台数の中で多くの地域に効率

よくバスを運行する必要がある、片回りの運行とさせていただきます。

今後も、より多くの地域の皆さんに効率よく循環バスを利用していただけるようルート、ダイヤの改善を進めてまいります。アグピー号の運行にご理解とご協力をくださるよう、よろしくお願いいたします。(総務部長)

質問⑫ 高齢者のタクシー券支給について伺います。(矢口)

答) この高齢者タクシー料金助成事業は、満70歳以上の高齢者を対象として、その利用に係るタクシーの基本料金を助成することにより、外出等に係る支援や、日常生活の利便等を図り、それらの方の福祉の向上に資することを、事業の目的としています。

このことは、高齢者の生活環境の保持、孤立感の解消及び外出・移動を支援することにより、介護予防につながる必要な事業となっております。

したがって、この事業はあくまでタクシーの基本料金を助成するもので、タクシー料金全額を助成するものではありませんので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。(民生部長)

質問⑬ 矢口公園に大型消防車が入れるように要望します。(矢口)

答) 農地の圃場整備と併せて都市計画道路草木岩滑線の道路整備を進めたいと考えています。

具体的な計画については、土地改良事業の進捗状況に合わせて検討していくこととなります。

また、既設の道路については、矢口公民館から西については4t規制となっておりますが、消防車等の緊急車両については通行できます。火事や事故等の現場に合わせて既設道路への侵入可能な車両にて現地に急行しますので、住所や目印等を的確に通報して下さるようお願いします。(建設経済部長)

質問⑭ 角前田交差点付近の前田川の水質検査の結果が知りたい、また阿久比川、長良川河口堰の水質が知りたい。(矢口)

答) 五反田水路に設置してあるものは、水質浄化のバイオコードという生物膜処理用ひも状接触剤です。

これにより、汚泥が付着しやすく且つ剥離もしやすいため、微生物が常にフレッシュな状態に保たれ、この微生物の働きにより河川の浄化となるものです。

前田川の水質は、PH7.4、BOD3.6(mg/l)、COD6.0(mg/l)、SS27.0(mg/l)、大腸菌群数11,000(MPN/100ml)、D011.3(mg/l)、全チツソ2.5(mg/l)、全リン0.10(mg/l)です。

阿久比川の水質は、PH7.5、BOD3.2(mg/l)、COD5.5(mg/l)、SS7.0(mg/l)、大腸菌群数11,000(MPN/100ml)、D013.9(mg/l)、全チツソ3.0(mg/l)、全リン0.084(mg/l)

です。(水質の数値については、後日コピーを矢口区長へ渡すことに。)

本町の下水道普及率は、平成24年3月31日現在で81.4%となっています。

長良川河口堰の水質は、平成23年の状況では、BOD、大腸菌群数、総窒素、総リン及びクロロフィルaは、やや低い数値で推移しており、年平均値では、大腸菌類を除くいずれの項目も環境基準値を満たしていました。

◎大腸菌群数(MPN/100ml)

測定箇所→伊勢大橋 年平均2600(環境基準値1000)

用語としては、PH→水素イオン指数、BOD→生物化学的酸素要求量、COD→化学的酸素要求量、SS→浮遊物質、DO→溶存酸素量です。(建設経済部長)

関連質問) 阿久比川と長良川の水質は、どちらがきれいですか。(矢口)

答) 水質の数値をお渡しします。(建設経済部長)

関連質問) 下水道の普及が進んでいるので、浄化実験は必要ないのではないか。

(矢口)

答) 生活排水は下水の普及により良くなっているが、家畜の関係の水が河川へ流れる可能性もあるので、定期的に数値を見て判断していきます。(町長)

質問⑮ 震災による断水時には生活用水も必要になります。個人所有の井戸を無償で使おうとしないで補助金を出しましょう。また、避難所等に井戸を設けられたらいかがですか。(矢口)

答) 震災などの大規模災害が発生した場合、水道施設の損傷による長期間の断水が予想されます。この間、飲料水は、ご家庭で備蓄している水や市販の水、給水車等により応急給水されますが、洗濯やトイレ等に使用する飲用以外の生活用水に使用分の不足も懸念されます。

そこで町では、災害が発生して万が一水道水の供給が停止したとき等に、皆さんが所有する井戸水を近所の方々に提供していただく「災害時協力井戸」の登録をお願いいたしました。

結果として町全体で341件、矢口地区では15件の協力をいただきました。

近所のみなさんと助け合い地域を守る行動と備えである「共助」の一環としての「災害時協力井戸」であり、登録に際しましては、可能な範囲で無償で提供していただける井戸をお願いするものですので、補助金は現在考えていません。次に、避難所等への井戸の設置についてではありますが、避難所等においても、今回登録頂いた「災害時協力井戸」の提供協力をお願いして、有効に活用させていただければと考えておりますので、井戸設置については考えていません。(総務部長)

4. 参加者との懇談

《町制全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 4月15日号の広報あぐいに掲載された町長の所信表明6項目のうち3項目についてお聞きしたい。

①道路と交通網の整備について。その中で横松から植大に続く環状線についてお聞きしたい。植大の交差点について、県の建設課の担当者は立体交差で計画していたが、町長は名鉄の線路の下を掘り下げて道路を作り平面交差にするということですが、どういうお考えですか。(阿久比)

答) 県議に陳情に行ったときに、一つの案としてハーフアンドアンダー(線路の下を掘り下げる)という工法があると聞きました。また、町は立体交差の計画について県から正式に聞いていません。しかし、案として色々な方法が考えられます。もう一つ別の方法として、名鉄の高架化が考えられます。本来、町づくりとしては、この方法が一番良いと考えています。(町長)

質問) 今後、環状線はどうして行くつもりですか。(阿久比)

答) 環状線については、今後も県へ要望していきます。(町長)

問) ②土地改良事業を推進するとともに工業用地の確保に努めることと所信表明で言われているが、町長は土地改良事業を進めるつもりがあるのですか。今年度の予算額は1,000円ですが、こういった意味があるのですか。(阿久比)

答) 予算項目がないということであればやる気がないと取られても仕方がないが予算計上してあるということは1,000円と金額は少ないが進めていく気があるということです。今後、事業が進んで予算が必要となれば、いつでも予算が付けられる状態にしてあります。こういったことから、町としては土地改良を進めていくということです。(町長)

予算項目については、1,000円だからやる気がないということではなく、科目があるということは、必要があればすぐにでも実施できるという状態です。いくら予算を付けても執行できる見込みがなければ不要額となってしまいます。この事業に対して職員は、一生懸命進めようとしています。(建設経済部長)

質問) 町は、土地改良事業で作った工業用地からの固定資産税は年間4億~5億円あるが、農家は土地をかなり犠牲にしている。循環バスや医療費の無料についても、町民が豊かになって農家(地権者)が犠牲になっている。(阿久比)

答) 土地改良事業では、農家が犠牲になっているということですが、この事業に対

して国税を含めた税金を何割投入しているか。地権者には、何割負担してもらっているのか。(町長)

土地改良事業の事業費は、5割は国・2割5分は県・2割5分は地権者となっています。この事業に対して、かなり税金が投入されています。また、企業庁が地権者から買い上げた土地は、非常に高額な単価で買われているため、決して犠牲になっているということはありません。(建設経済部長)

土地改良事業は、地主の了解があり地主にとって優良農地となりプラスとなるため行います。また、それを目指すことによって農水省から補助金がもらえます。地主は、3割土地を出すことになるが、それで道路を作ることもできるし、企業庁に土地を買ってもらい工業用地に変えることもできます。これは、農家にとってもメリットがあり、町民にとっても道路が使えるメリットとなります。それに、工業用地に工場が建てば雇用確保にもつながり、税収も上がることなど全体について説明した上で同意をもらい進めています。(町長)

質問) 南部工区土地改良事業に対して協議会役員の誠意がないと建設経済部長が言ったということですが誠意がなかったのですか。(阿久比)

答) 役員に誠意がないという表現はしていません。(建設経済部長)

提言) 高齢者福祉について。(要望) 循環バスや子ども医療費の無料化などが実施できるほど予算に余裕があるのならば、高齢者の医療費に対して少しでも町が負担してください。(阿久比)